

大賞・優秀賞

本作品は「リノベーションによる建物」の優秀賞受賞作品でもある。



美島

設計担当者

美島康人

(株)竹中工務店、東京建築士会

共同設計者

吉本晃一朗

(株)竹中工務店
東京建築士会

長谷川裕馬

(株)竹中工務店
東京建築士会

旅館、飲食店舗、公衆浴場、工場／長野県塩尻市奈良井

歳吉屋 -BYAKU Narai-

構造 | 木造

階数 | 地上2階

敷地面積 | 1,816.37㎡

建築面積 | 1,018.37㎡

延べ面積 | 1,182.71㎡

竣工年 | 令和3年



吉本



長谷川



1

1 外観夕景

選評

リノベーション作品の大賞受賞については、審査員内で賛否両論の議論となった。とはいえリノベ建築は今や設計の主戦場になりつつあり、このタイミングだからこそ高いクオリティのリノベ作品を大賞とすることに意味がある、という結論に至った。それにふさわしい作品としてこの建築が選ばれた。

奈良井町は旧中山道の宿場町として多くの観光客が訪れる重要伝統的建造物群保存

地区である。竹中工務店が塩尻市と業務提携し始めた奈良井のまちづくり、その中心となるのが、築200年の元造り酒屋を宿泊・レストラン・浴場・酒造り工房併設の複合施設に再生したこの建築である。

改修設計は、母屋・蔵・酒蔵群が密集する既存建物の丁寧な分析の上に、継承するものと更新するものを綿密に精査しながら行われている。全体計画でまず秀逸なのは、ほぼすべ

ての客室へ外部空間から直接アプローチする点である。特に母屋には計5室の宿泊室を設けてあるが、うち4室は母屋の中を通らず庭を経由してアクセスさせることで、戸建てのような落ち着きと、建物を独り占めしているかのような特別感を生み出している。それと同時に母屋中央付近に耐震壁・遮音壁の合理的な配置を実現している。

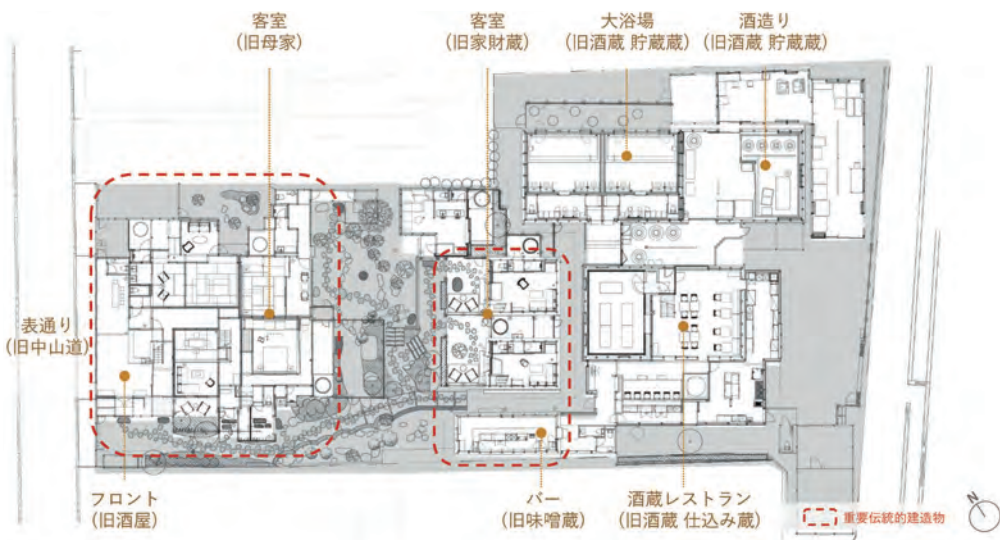
また敷地全体を見渡す視点を持たない町



2



3



改修後平面図。古図面を読み解き、全室異なるテーマの客室を創出



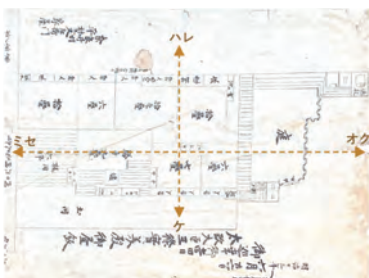
4



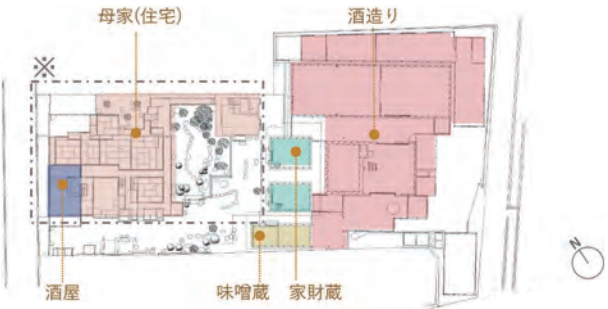
5



6



明治時代の手書き図面 (右図※の範囲)



改修前平面図

2 奈良井宿は中山道六九次の中で34番目に位置し、重要伝統的建造物群保存地区に指定され、美しいまちなみが約1kmにわたり残る旧中山道の宿場町である

3 約200年の歴史を持ち、かつて町の象徴的な存在であった旧杉の森酒造の酒造りを再興し、宿・レストラン・宿泊客以外も利用できるバーと温浴施設へと再生した

4 改修前の厨子2階(客室 百二)
5 改修前のカッテバ(客室 百三)
6 改修前の酒蔵(レストラン)

家特有の空間体験を最大限に生かし、内外で徹底したシークエンスの計画がなされており、奥に進むごとに新たな場面が現れる迷宮のような魅力を生み出している。

解体で外された建具や建材を別の箇所に臨機応変に再利用するなど、設計時のみならず現場での絶え間ない判断の連続は、担当者の執念の賜物であろう。一方、新しく挿入された要素には地場材や漆などの伝統工芸を

違和感なく取り入れ、滞在中で歴史と現代の連続性を体験することができる。

現在は、周辺の町家を改装した宿泊施設の鍵をこの施設のフロントで管理するなど、いわば街道のレセプション的な機能も担っているとのこと。この先 trial and error を繰り返しながら、行政や住民の方とともに奈良井スタイルをつくり上げていくのだろうが、こういった試みは日本各地で需要があり、この作品は「建築の力

によるまちづくり」の貴重なモデルになると考える。

歴史ある建物にリスペクトした保存再生であり、かつそれを作品のレベルまで高めること、さらに点から線・面へと展開するまちづくりの起点となること。これらを同時に成り立たせるのは容易ではない。スーパーゼネコンならではの恵まれた仕事、で片付けるわけにはいかない高いクオリティと大変な仕事量であることは間違いない。

(冨永祥子)



7

- 7 表通り・旧中山道に面する客室「百二」(旧厨子2階)。間口六間を登り梁で支える無柱のワンルーム、格子越しに奈良井宿のまちとつながる
- 8 客室「百三」(旧カッテバ)。煤で黒くなった梁や漆喰壁など歴史の蓄積を感じる空間
- 9 客室「百七」(旧家財蔵)。土壁を表しとし、木曾漆のフローリングや漆和紙を使用している
- 10 中庭を介する独立した各室へのアプローチ
- 11 客室「百五」(旧奥座敷)。格式高い書院造の設えを持つ客室
- 12 耐震要素の配置と水平構面の構築により、現行法規で求められる耐震性能を確保(左から、既存意匠を損なわない合板耐力壁+ホールダウン金物の配置、構造用合板による床補強、天井内の見えない水平ブレースの設置)
- 13 地域森林資源の循環への貢献(バイオマスボイラーの導入)



8



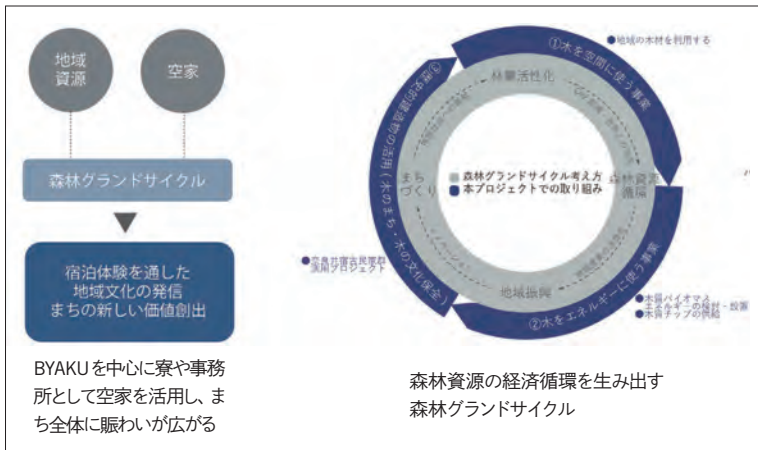
9



10



11



12

14 レストラン(旧酒蔵)。かつての仕込蔵である客席と、ガラス越しに垣間見える新たな酒造りにより新旧の酒蔵の息吹を感じる空間

15 レストランカウンター席(旧酒蔵窯場)。かつての窯場の遺構を象徴的に残す

写真1・3…ロココプロデュース 林 広明

写真2・7・8・14・15…ONESTORY提供

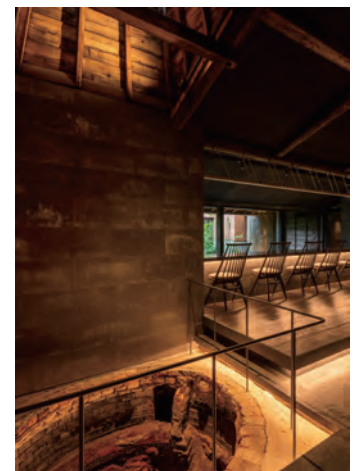
写真9～11…TOREAL 藤井浩司



13



14



15